

心齋橋大学 2021年度 秋期カリキュラムのご案内

心齋橋大学の「本科」では、春期と秋期で各コースの担当講師が交代いたします。文章の書き方・表現の仕方については、作家によってそれぞれの感性や考えがあり、作家を目指す方、筆力向上を目指す方には、より多くの作家・講師の指導を受けられることをお勧め致します。

「本科」で1年間学ばれた方は、上位コースとしての「大学院」へ進級頂くことが出来ます。

本紙に、秋期カリキュラム・担当講師についてご紹介致します。ご不明点や確認事項がありましたら、お気軽にスタッフにお声掛け下さい。メール・お電話でも随時お答え致します。

ご希望の受講クラスについては、別紙にご記入の上、事務局にご提出下さい。秋期入学生も迎えますので、お早目のご提出をお願い致します。



News! 大学院が 半年制になります！ より受講しやすく♪

春期・秋期ごとに開講ゼミをご案内致します。今回新設のゼミ有！要チェック！

●本科・大学院の受講について ～ 受講の目安 ～

◆ 2021年春入学（35期生）の方へ

春期と秋期の指導内容に重複点はありますが、作家によって考え方やアプローチが異なります。皆様には、より多くの感性、意見、方法に触れ、根を張る為の土台を培って頂きたいと考えております。基本的には、現在受講中の分野（コース）を継続されることをお勧め致しますが、新たな分野にチャレンジなさりたい方は、受講コースを変更頂くことも出来ますし、専科スクールを並行して受講頂くことも出来ます。秋期の本科各コースの体験授業ビデオを配信致しますので、お気軽にご相談下さい。

◆ 2020年度入学（34期生）の方、心齋橋大学で1年間学ばれた方へ

2020年度以前、または今年度に学ばれた分野の上位クラスである大学院に進級頂く事が出来ます。新たな分野にチャレンジなさりたい場合は、本科の該当コースを受講して下さい。

◆ 大学院に所属されている方、以前に所属されていた方へ

2021年春に受講手続きをされたゼミについては、今回お手続きの必要無く受講頂けます。

2020年秋に受講手続きをされたゼミについては、ご継続のお手続きをお願い致します。また、新たな分野にチャレンジなさる場合は、本科の該当コースを受講して下さい。大学院と本科の組み合わせ、大学院受講コースの追加に関しては、別途受講費用をご案内しますので、お申し付け下さい。

※ いずれのクラスも、継続生とコース変更や進級で新たに入られる方が合同で学びます。（本科では、新入生も受付致します）複数クラスがあるコースについては、振替受講が可能です。また、本科・大学院・専科は重複して受講する事が出来ますが、大学院に関しては、一定基準を満たした方のみ受講頂けます。

※ 進級・継続において、入学金は必要ありません。本科と専科の入学金は異なりますが、本科・大学院の受講生は、専科入学金は必要ありません。専科受講生が本科を受講する場合、入学金差額を申し受けます。

●公開講座・特別講義について 【本科・大学院】

本科・大学院では、書くこと、創作することを広く学んで頂く為に、特別講義と公開講座を設けております。

◎特別講義と公開講座は、各コースの開講曜日に関係無く、全校合同で実施致します。

○特別講義について

著名な作家をはじめ映画監督、編集長、ディレクターなどメディアで活躍している方々を講師としてお招きします。様々な分野から、広い知識を得ることを目的に行います。

（過去にお招きした講師：川上未映子氏、姫野カオルコ氏、鏑木蓮氏、長嶋有氏、村田沙耶香氏、吉村萬壺氏、黒川博行氏、角田光代氏、朝井まかて氏、など）

【実施回数】年に2回程度（春期1回・秋期1回）を予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科スクールのカリキュラムには含まれません。

○公開講座について

皆様の好奇心を刺激する講義、引き出しを増やす為の講義を企画致します。特別講義よりも講師との距離を近くし、より多くの作家や文化人、書籍・出版関係者の生の声をお聞き頂きたく、講師としてお招きします。（予定講師：作家・脚本家・構成作家・記者・編集者等）

【実施回数】春期4回・秋期4回を予定、各回昼クラス・夜クラスを開講予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科スクールのカリキュラムには含まれません。

●本科・大学院の受講タイプについて 【オンライン受講】【ビデオ受講】対応

本科と大学院では、講義ごとに、【来校受講】【オンライン受講】【ビデオ受講】を選択頂けます。ご都合や体調に合わせて受講タイプを選択なさってください。無理なく、無駄なくお続け頂くことができます。

○オンライン受講について（Zoomを使用します）

インターネット環境と、パソコンやスマホ等があれば、ご自宅などからリアルタイムで講義に出席頂けます。課題や教材はメール添付、郵送等でお届け致します。接続テストをご希望の方は、お気軽にご相談下さい。オンライン受講の方法については、開講時に改めてご案内致します。

○ビデオ受講について

来校、オンライン受講もご無理な場合は、講義を録画してインターネット上にアップします。視聴用URLとパスワードをメールでお知らせしますので、ご自宅でご都合の良い時にご覧下さい。

●本科について

本科には、5つのコースがあり、学びたい分野に応じたコースを選択頂く事が出来ます。各コースの開講期間・講義回数・受講費用は共通です。

開講期間：秋期2021年11月～2022年4月 予定

講義回数：20回（各コースカリキュラム15回・特別講義と公開講座計5回）（90分/回）

受講料：96,000円（税抜） 教材・教務費：5,000円（税抜）…いずれも1コース選択の場合

※5回払いもご利用頂けます。※消費税・受講費用計については、P10・11をご確認下さい。

※受講されるコース・クラスの担当講師以外への講評依頼は受付出来ません。

●本科の各コースについて ～担当講師の指導方法・内容～

本科：文章・エッセイ コース

Start 11/15（月）・11/20（土）

エッセイ、文章の上達を目的としたコースです。元新聞記者、ライター、脚本家、エッセイストと様々な分野の“書く”プロが指導します。春期とはまた一味違う着眼点、表現方法を学んで下さい。

【開講曜日・時間】 月曜昼（14時）クラス、土曜昼（14時）クラス ※振替受講可

・ 秋期担当講師：武部好伸先生・林禧男先生・藤田富美恵先生 … 各5回

武部好伸 先生より/エッセイスト・作家

日記は別として、どんなジャンルの文章でも、人に読んでもらわなければ意味がありません。そのためには、「独りよがり」から脱却し、文章作成上の最低限のルールを守る必要があります。基本を押さえれば、

あとはそれをいかに応用するかです。エッセイは自分の感性を最大限に活用し、具体的にわかりやすく書くことが求められます。とりわけ観察力と描写力が重要です。時にはインタビューや取材にチャレンジすることもあります。そのノウハウを伝授したいと思っています。さらに各自で作成した原稿を受講者全員で読み合い、どのように添削されたのかを知ってもらいます。きっと良い刺激を受けるはずです。講義では、体験談をまじえ大所高所から文章作成に関するさまざまな事柄をお話しさせていただきます。最終的には文章を書くことが大好きになってもらいたいです。

林禧男 先生より／脚本家・作家

学ぶ、という言葉は「真似ぶ（まねぶ）」が変化したものと言われています。いい文章が書けるようになるには、どんな方法があるのでしょうか。森鷗外は、「春秋左氏伝」を繰り返し読みなさいと言いました。また、丸谷才一は名作を読みなさいと言っています。これらの助言はとりもなおさず「真似ぶ」ことにほかなりません。いい作品を読むことはもちろんですが、畳の上の水練では意味がありません。そこで、受講生には実際に短文（エッセイ）を書いていただき、それを添削することにします。文章を書くことは苦しいことですが、反面楽しいことでもあります。受講生には書く習慣を身に付けてほしいと思います。

藤田富美恵 先生より／児童文学作家・エッセイスト

人に読ませることを意識した文章に仕上げるコツ、書き方を丁寧に指導します。エッセイに書く値打ちのある素材とは、書くときに気を付けること、書く流れ、と順に解説し、実際に書いてみます。提出作品は、添削・講評を添えてお返しします。また、提出作品を教材として使用し、よりよい作品に仕上げる推敲の方法を伝授します。

本科：創作・小説 コース

Start 11/16 (火)

春期に比べ、講義の割合が高くなります。特に、物語の構成と展開、キャラクターの設定等について深く学ぶカリキュラムをご用意しています。物語の展開に行き詰まる、物語に奥行きが無い等のお悩みがある方は、ヒントが得られるはずです。上質な文章を書く為のトレーニングとして、エッセイも取り上げます。

【開講曜日・時間】 火曜 昼（14時）クラス、夜（19時）クラス ※振替受講可

・ 秋期担当講師：丹波元先生・楠本ひろみ先生・北野勇作先生 … 各5回

丹波元 先生より／小説家・放送作家

日本語で書く文章の基本は、正しい手紙の書き方にあります。まともでうまい文章とは、きちんと正しく書けた手紙と共通するものがあるのです。逆な言い方をすれば、手紙すらまともに書けないようでは、小説やエッセイはおろか、普通の作文ですら及びません。

このコースでは、正しい日本語の書き方からスタートして、どういう文章が人を惹きつけるかを教えます。また、普通の文章、エッセイ、小説などの違いや、小説にはどんな分類があるのか、等々、文章の周辺にある様々な面白い話もします。他に、説明と描写はどう違うのか、荒筋とプロットの違い、なども随時説明します。

楠本ひろみ 先生より／脚本家・作家

このクラスでは、小説を書くために必要な、「物語作りの基礎」をお伝えします。そもそも物語とは何なのか、主人公のキャラクター設定に必要なことは何か、物語の骨組みはどう作るのか、プロットとあらすじは何が違うのか…こういった物語のベースを学ぶことによって、その上に豊かな表現、個性的な文体といった小説の要素を積み重ねて行くことができると私は考えています。一度しっかりと物語作りの基礎を知っておきたいと言う方は、是非この機会にご参加ください。物語と意欲的に向き合いたい方をお待ちしています。

小説というのは、なかなか設計図通りにいきません。またきちんとした設計図をいつまでも描くことができなくて、なかなか書き始めることができない、というようなことが起こります。そういう時にどうすればいいのか。どう考えればいいのか。書きながら考えるのはどうすればいいのか。そういう自分が書いている小説との付き合い方みたいなことを、一緒に考えていきたいと思っています。

本科：脚本 コース**Start 11/15 (月)**

テレビ・ラジオドラマ脚本（シナリオ）、舞台脚本について学びます。脚本家デビューを目指す方、ドラマを書きたい方の為に、課題提出・講評（合評）を繰り返しながら、実作指導をします。

【開講曜日・時間】 月曜夜（19時）クラス

- 秋期担当講師：林千代先生（8回）・北林佐和子先生（7回）

林千代 先生より／脚本家

楽しくなければ、ドラマではありません。良い作品とは、誰が演じてでも面白いエンターテインメント作品です。このコースでは、ドラマの発想からストーリーの構築、プロットから構成、ハコ書き、シナリオの書き方やテクニック、直しの技術迄を丁寧にかつ総合的に指導します。特に重要なのは、テーマです。テーマの重要性を認識し、ヤマ場にもってくる意義を知りましょう。また、人物設定の中では、主人公に対する人物設定とリアクションが成功の秘訣となります。個々の作品・状況を確認しながら、順を追って指導しますので、安心して受講して下さい。

北林佐和子 先生より／脚本家

脚本は設計図といわれます。つまり小説とは違い、文章そのものが完成品ではない、脚本とは、演技や演出などが幾重にも重なって、ひとつのカタチを為すものです。しかし舞台とテレビ・映画では、その設計図の書き方が少し異なります。本講座では舞台脚本の基礎を学びながら、創作の楽しさを感じていただきたいと思います。

本科：児童文学 コース**Start 11/20 (土)**

幼年童話・児童文学・絵本について学びます。ハリーポッターやナルニア国物語など、大人が読んでも夢中になる物語を書いてみませんか。秋期では、絵本作家の視点から絵本の構成について、キャラクター設定についても指導します。実習も盛り込みながら楽しく取り組んで頂けます。

【開講曜日・時間】 土曜昼（11時）クラス

- 秋期担当講師：文章指導として、あんずゆき先生（4回）・北ふうこ先生（4回 ※新任）
絵本の構成・イメージカトレーニング指導として、中田弘司先生（7回）

あんずゆき 先生より／児童文学作家

まずは、児童文学の基礎知識や物語の構成について講義します。以降は、毎回数名～5名程度の方の提出作品を合評・講評します。提出作品は添削してお返し致しますので、アドバイスを参考にしてブラッシュアップして下さい。個々のレベルや感性に合わせて作品指導を行いながら、皆さんに必要なこと、知っておいて頂きたいことなどをお話ししていきます。

絵本、イラスト、文章、編集デザイン等の制作の経験から、文章だけではなく絵本の構造や考え方等を合わせ、アイデアをより良く伝える為に、実際の制作者の視点で指導いたします。

期間を通じて、オリジナルの絵本ラフをつくり合評会をします。

各回の授業ではキャラクター、展開、構成等のテーマを設け、絵本制作に必要な各課題を制作することで、絵本に対する視野を広げ、具体的な制作のアドバイスをします。



新たな講師をお迎えします！ 北ふうこ先生ご紹介

大阪府出身。児童文学作家。日本児童文学者協会会員。図書館司書、読書アドバイザーの資格を持っている。毎日児童小説コンクール優秀賞、学研読み特賞などを受賞。著書に「おやしきおばばのてんてんパチンコ」「歩いて行こう」「ねこのかんづめ」「ようこそ なのぞしょうがっこうへ」などがある。

本科：ジャンル小説 コース ※Zoom・ビデオ受講のみ

Start 11/20 (土)

ジャンル小説コースでは、ジャンル小説の基礎知識の習得から短編を書き上げる迄を、1年間で学びます。春期と秋期に、それぞれスタートクラスを設け、最初の半年間で基礎知識を学び、次の半年間で小説を仕上げます。新たな分野を学び、自作に変化を付けたい、とにかく知識を増やしておきたい方にもお勧めのコースです。※Zoom およびビデオ受講のみでの講義を予定しております。教室での Zoom 参加対応可。

【開講曜日・時間】 秋期からの受講生（Ⅰクラス）は、土曜昼（14時）
春期からの継続生（Ⅱクラス）は、土曜夕（16時）

◆ 秋期スタートクラスのカリキュラム 担当講師：田中啓文先生・牧野修先生

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（7回）

ミステリ・ホラー・ファンタジー・SF・時代小説等のエンターテインメント性の高い小説の書き方について、基礎知識の習得（講義）と演習（実作講評）を行いながら指導します。

一つ一つの課題は小さく、ステップを着実に上がっていくことが出来るように構成しています。

初めて小説を学ぶ方、「創作・小説」コースで学ばれ、表現の幅を広げたい方にもお勧めです。

◆ 春期より継続される方の為の「秋期」カリキュラムの特徴

担当講師：田中啓文先生（8回）・牧野修先生（4回）・友野詳先生（ライトノベル講義／3回）

公募入選・デビューを目指し、応募や投稿の仕方についても指導します。プロット、キャラクター設定などの小説を書き上げる為のプロセスを順に確認しながら、講師指導のもと、作品を仕上げます。これまでに何作か書かれている方にも、新たな気付きがあることでしょうか。また、春期では学ばなかった新たな分野として、ライトノベルについても指導します。

田中啓文 先生より／小説家

いわゆるジャンル小説は、一般文芸や純文学と異なり、それぞれのジャンルに固定のファンがいます。たとえばミステリしか読まないとか、時代小説しか読まないといったうさぎの読者が相手なので、彼らを満足させ、納得させる書き方が要求されます。

この講座では、そんな読者を納得させるベーシックな部分から解説し、それを踏まえて、短編小説を一本仕上げるといった具体的な作業をやっていこうと思っています。

今、出版界には数多くの新人賞があり、ジャンル小説の作家としてデビューするには非常に恵まれた状況だと思います。しかし、新人賞に応募するには最低 50 枚の短編を書くことが必要です。目標は、最終回までに「新人賞に応募するレベルの 50 枚の短編を書き上げる」です。

皆さんが書きたいと思っているジャンルの作品を、段階をおって完成させましょう。ジャンル小説を書きたいと思っているかたはぜひご受講下さい。

ホラー、ファンタジー、SF。どれも特有のお約束や決まり事がいろいろあります。それは、同時にジャンルの魅力でもあります。人を怖がらせたり驚かせたり、そこには娯楽小説の魅力が一杯詰まっています。小説の楽しみ方を知り、書くことも楽しむ。そんなことを講座では話していきます。ぜひ体験してみてください。

●大学院について

本科の上位クラスとして大学院があります。大学院の各ゼミは完全担任制です。本科で様々な指導を受けて頂いたことで、ご自身の方向性も定まってこられるでしょう。書くことを更に深く学びたい、公募入選・プロデビューを目指したい方は、是非受講下さい。

一度大学院に進級されても、本科のカリキュラムを受講頂くことが出来ます。また、本科のカリキュラムは、大学院と並行して受講頂くことも可能です。

◎大学院の受講資格について

大学院ゼミ担当講師の講義を、①本科で受講された方、②受講を希望するゼミの分野を心齋橋大学で1年以上学ばれた方、③現本科生の方で受講可能と認められた方、に受講頂けます。詳しくは、スタッフにご確認下さい。

例：大学院の難波先生ゼミの受講を希望…心齋橋大学で小説を1年以上学び、難波先生の指導を受けていることが基本となります。2021年春入学の本科「創作・小説コース」生の方は、2021年秋期の「創作・小説コース」で学ばれた後、大学院へ進級頂く事が出来ます。

●大学院の概要

開講期間：2021年11月～2021年4月 予定  今秋より、大学院も半年制になります！

講義回数：11回～（各ゼミの講義6回、特別講義1回、◎公開講座4回）

◎1ゼミ受講の方は、公開講座4回のうち来校での対面受講を1回、オンライン3回で全4回を受講頂けます。2ゼミ以上を受講の方は、全4回を来校・オンラインいずれでも受講可とします。

受講料：45,000円（税抜） 教務・教材費：3,000円（税抜） …いずれも1ゼミ選択の場合

※選択ゼミ数により、受講費用総額が異なります。※月払いもご利用頂けます。

※消費税・受講費用計については、P10・11をご確認下さい。

※受講されるゼミの担当講師以外への講評・添削依頼の受付は出来ません。

●大学院のゼミ（クラス）紹介 ーゼミ・クラスをお選び下さい。複数ゼミのお申込みも頂けます。ー

小説・エッセイ分野

難波利三 先生ゼミ

Start 11/6（土）・11/11（木）※11月は変則

毎月第1 木曜昼（14時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説）が基本です

- ・ 毎回、即席で与えられたテーマで書く。時間的、空間的に限られた状況で最大級の集中力と、全知全能の結集が必要となり、その繰り返しが創作力アップに繋がる。毎回完結でも、続編でも可。
- ・ 創作の書き出しと終わりの大切さを学ぶ。

丹波元 先生ゼミ

Start 11/18 (木)・11/20 (土)

毎月第3 木曜昼(14時)クラス、木曜夜(19時)クラス、土曜夕(16時)クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作(小説)・エッセイ

- ・ 毎回、与えられたテーマで、エッセイまたは小説を選択して期日までに課題提出。優秀と認められた作品を発表、講評する。
- ・ 文章の基本は、名作を読むことにある。名短編小説や名エッセイを教材として取り上げ、その解説を行う。読むべき名作をお教えします。

田中哲弥 先生ゼミ

Start 11/20 (土)

毎月第3 土曜夜(18時)クラス ※秋期のみ開講

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

受講対象：創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに所属されている方・されていた方

- ・ 各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・ 作品ジャンル及びテーマは自由。1回の提出枚数は50枚程度とする。クラス受講人数や作品提出状況により、適宜調整します。
- ・ 基本的には、6回の講義のうちに1作を完成させること。(毎回、完結作でも可)
- ・ 皆さんの作品発表の場、プロから直接指導が受けられる、熱意溢れる場となることを目指します。

◎担当講師よりメッセージ

本科コースで実作を書く事の難しさ、楽しさを感じていただけたと思います。また、作品を書き上げることの達成感も味わっていただけたかもしれません。このクラスでは、あらすじから始まり、作品を仕上げていく、具体的な過程のお手伝いをします。それぞれの自由な発想で作品を完成させていきましょう。

増山実 先生ゼミ



NEW! 待望の増山ゼミ新設!!

毎月第1 月曜夜(19時)クラス ※秋期のみ開講

Start 11/1 (月)

【カリキュラム概要】創作(小説)(実作合評クラス)

受講対象：創作・小説コースを受講された方、大学院小説ゼミに所属されている方・されていた方

- ・ 各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・ 講師より指定したテーマ(自由テーマも混ぜます)で5~10枚程度の課題を予定。新設クラスの為、皆さんと相談しながらクラスを創り上げていこうと思います。

古川嘉一郎 先生ゼミ

Start 11/9 (火)

毎月第2 火曜昼(11時)クラス

【カリキュラム概要】エッセイ

- ・ 毎回、公募ガイドからピックアップし、課題とする。(講師が指定する5~6本の中から1つ、複数も可)課題作は当日、受講生全員に配布。
- ・ 各自、自作を読み上げ、講師がその内容や構成、文章表現について細かくアドバイス。また、全員で合評も行う。

脚本分野

林千代 先生ゼミ

Start 11/5 (金)

毎月第1 金曜夜 (19時) クラス

【カリキュラム概要】脚本

- ・ 発想からプロット、シナリオ創作のプロセスを今一度復習しながら、プロットの書き方、人物の配置、魅力あるキャラとは、起承転結…を指導します。
- ・ 合評から書き直しのテクニック、アドバイス。面白くするコツ、魅力あるキャラ創り、ドラマをラストまで引っ張る構成の妙とは。テーマとアンチテーゼ、始めと終わりのドラマの合致の大切さを学ぶ。
- ・ 映像の特性を学び、最大限に生かすコツ。いかに書くか、書かないか！テクニックをトータルに学ぶ。
- ・ コンクール受賞へ向かって、してはいけない書き方、テーマの重要性、キャラの魅力の出し方を学ぶ。

楠本ひろみ 先生ゼミ

Start 11/19 (金)

毎月第3 金曜夜 (19時) クラス

【カリキュラム概要】脚本

- ・ 基礎を復習しながら、企画からプロット、構成、脚本、改稿までを通して、作品を仕上げます。作品を仕上げることが出来ない方には、どこに問題があって前へ進まないのか、どこまでなら出来るのかを確認しながら、とにかく一本作品を完成させることを目指します。
- ・ コンクール入賞を目指す方には、企画について、「ただ自分が書きたいもの」だけではなく、その企画に新鮮味があるか、独自性があるかといった視点で企画立案ができるよう、「ネタを見る目」「ネタを育てる力」を意識するように促します。また、改稿する力（自作の欠点の気付き、コミュニケーション能力、改善点を作品に活かす能力）を伸ばすことを重点に指導します。
- ・ 映像作品に加え、ラジオなどのオーディオ作品、マンガ原作についても注意点を指導します。

事務局より：課題作は、講義 10 日前迄にメール添付でデータ提出頂きます。事務局より、楠本先生と各クラス受講生に、データを転送致します。また、提出作品は、教材としてプリントアウトしてお配り致します。この為、ワープロソフトとメールがご利用頂ける環境を推奨致します。

児童文学分野

あんずゆき 先生ゼミ

Start 11/13 (土)

毎月第2 土曜昼 (11時)

【カリキュラム概要】児童文学

- ・ 心齋橋大学で児童文学を学ばれた方を対象に、実作指導、合評・講評を行うクラスです。書き続けたい方、コンクールでの入賞を目指す方、出版したい方…、それぞれの目的と個性に合わせた指導を行います。基本的には、ご自身の書きたいテーマで書いて下さい。受講人数や作品の提出数、進捗を確認しながら、提出数や原稿枚数等も適宜調整していきます。無理なく続けましょう。

●専科スクールのご紹介

本科・大学院とは別に開講する講座で、コースにより、受講期間・回数が異なります。特定の目的の為のカリキュラムをご用意しており、本科・大学院と並行して受講頂く事が出来ます。説明会・体験授業へのご参加、資料をご希望の方は、スタッフにお申し付け下さい。※下記の掲載額は全て税抜きです。

○「紙ふうせん」後藤悦治郎による作詞家養成スクール

—説明会・体験授業も有—

「冬が来る前に」「翼をください」、おはよう朝日テーマソングとして親しまれた「朝（あした）の空」など、多くの名曲に携わってこられた後藤先生による直接指導が受けられます。作詞は初めて、という方も是非、挑戦して下さい。

【開講曜日・時間】 第1・3水曜 18時30分～20時20分、1日2コマを実施

【開講期間】 2021年11月～2022年4月 【講義回数】 20回（50分/回）

【受講費用】 新規生 受講料：55,000円 教務・教材費：5,000円 ※5回払い可

作詞家養成スクール 体験入学・説明会【無料・要予約】

現在実施中の講義に体験入学頂けます。作詞に興味のある方は、是非ご参加下さい。

9/29（水）・10/6（水）・10/20（水） 各19:00～90分程度。いずれかにご予約下さい。

○放送作家養成スクール

—説明会・体験授業も有—

放送作家、イベントプロデューサーを養成、業界への就職を目指すコースです。現役の放送作家が直接指導し、業界デビューへとサポート致します。即戦力となるよう指導しており、受講生は次々とチャンスを掴んでいます。※30歳ぐらい迄の方にお勧め致します。

【開講曜日・時間】 土曜 17時～、ほぼ毎週の開講を予定

【開講期間】 2021年11月～2022年4月 【講義回数】 20回（90分/回）

【受講費用】 受講料：100,000円 ※5回払い可

○自分史制作スクール

◎執筆依頼のプランについても、ご相談下さい。

自分史を執筆する為のコースです。マンツーマン指導で自分史の執筆をサポート致します。章ごとに執筆、添削・講評を受けながら、自分史を完成させ、製本・出版致します。自分史以外のビジネス書、ハウツー本等も読みやすい文章となるよう、指導しますのでご相談下さい。

【開講曜日・時間】 随時 執筆スタート後は、月に1度ぐらいのペースで面談・指導

【開講期間】 執筆ペースにより異なる 【講義回数】 12回（目安、追加可）

◎初回講義から出版迄にかかる期間約12カ月の例

①自分史執筆に関する講義（2回）… 約1カ月

②添削指導（8回）… 約8カ月（執筆ペースにより異なる）

③製本・出版に関する講義（2回）※出稿（校了）から出版迄にかかる期間…約3カ月

【受講費用】 受講料：148,000円/教務・教材費：2,000円 ※製本費用は別途必要です

◎製本・出版費用例：ソフトカバー仕上げ、216ページ、150冊…680,000円

*** 心齋橋大学 2021 年度秋期 受講費用と講義回数 ***

- ・ 本科の複数コース受講、本科と大学院の組合せ、大学院のゼミ追加の費用については、本紙に掲載しておりません。別途ご案内致しますので、お申込み前にスタッフにご確認下さい。
※専科スクールを合わせて受講される場合は、受講費用をそのまま加算して下さい。
- ・ ご希望の受講内容については、確認書に明記して下さい。確認書のご提出と費用のお支払いは、前後しても結構です。必ず受講生様フルネームでお振込下さい。

*** 10月20日(水)迄にお手続き下さい ***

ご一括払いの場合、月払いと比べ5,000円お得です

本科 コース	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章・エッセイ ◆ 創作・小説 ◆ 脚本 ◆ 児童文学 ◆ ジャンル小説 I ◆ ジャンル小説 II 	受講期間：半年 各コースカリキュラム講義：15回 公開講座：4回／特別講義：1回 全講義回数計：20回	受講料： 96,000円 教材・教務費： 5,000円 消費税： 10,100円 一括払い(税込計)：111,100円

大学院 ゼミ	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生(小説) ◆ 丹波先生(小説・エッセイ) ◆ 田中哲弥先生(小説) ◆ 増山実先生(小説) 	●1つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：6回 公開講座：4回／特別講義：1回 全講義回数計：11回	受講料： 45,000円 教材・教務費： 3,000円 消費税： 4,800円 一括払い(税込計)：52,800円
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古川先生(エッセイ) ◆ 林千代先生(脚本) ◆ 楠本先生(脚本) ◆ あんず先生(児童文学) 	●2つのゼミを選択した場合 受講期間：半年 各ゼミ担当講師による講義：12回 公開講座：4回／特別講義：1回 全講義回数計：17回	受講料： 72,500円 教材・教務費： 4,000円 消費税： 7,650円 一括払い(税込計)：84,150円

専科スクール／期間と回数	一括払い
放送作家養成スクール 受講期間：半年／20回	受講料：100,000円／消費税：10,000円 一括払い(税込計)：110,000円
作詞家養成スクール 受講期間：半年／20回	受講料：55,000円／教材・教務費：5,000円 一括払い(税込計)：66,000円
自分史制作スクール 受講期間：半年～1年／12回 ※内容・執筆スピードにより異なる	【執筆プラン】 ※月払いについては、ご相談下さい。 受講料：148,000円／教材・教務費：2,000円／消費税：15,000円 一括払い(税込計)：165,000円

*** 月払い予定表 ***

本科 コース	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章・エッセイ ◆ 創作・小説 ◆ 脚本 ◆ 児童文学 ◆ ジャンル小説Ⅰ ◆ ジャンル小説Ⅱ 	1回目	2021年10月20日	28,600円
	2回目	2021年11月29日	22,000円
	3回目	2021年12月28日	22,000円
	4回目	2022年1月28日	22,000円
	5回目	2022年2月28日	22,000円

大学院 ゼミ 【1ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生 (小説) ◆ 丹波先生 (小説・エッセイ) ◆ 田中哲弥 (小説) ◆ 増山先生 (小説) ◆ 古川先生 (エッセイ) ◆ 林千代先生 (脚本) ◆ 楠本先生 (脚本) ◆ あんず先生 (児童) 	1回目	2021年10月20日	14,300円
	2回目	2021年11月29日	11,000円
	3回目	2021年12月28日	11,000円
	4回目	2022年1月28日	11,000円
	5回目	2022年2月28日	11,000円

大学院 ゼミ 【2ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生 (小説) ◆ 丹波先生 (小説・エッセイ) ◆ 田中哲弥 (小説) ◆ 増山先生 (小説) ◆ 古川先生 (エッセイ) ◆ 林千代先生 (脚本) ◆ 楠本先生 (脚本) ◆ あんず先生 (児童) 	1回目	2021年10月20日	19,250円
	2回目	2021年11月29日	17,600円
	3回目	2021年12月28日	17,600円
	4回目	2022年1月28日	17,600円
	5回目	2022年2月28日	17,600円

専科スクール	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 放送作家養成 スクール <p>※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です</p>	1回目	2021年10月20日	27,500円
	2回目	2021年11月29日	22,000円
	3回目	2021年12月28日	22,000円
	4回目	2022年1月28日	22,000円
	5回目	2022年2月28日	22,000円
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作詞家養成 スクール <p>※本科受講生・大学院受講生は、入学金不要です</p>	1回目	2021年10月20日	18,700円
	2回目	2021年11月29日	13,200円
	3回目	2021年12月28日	13,200円
	4回目	2022年1月28日	13,200円
	5回目	2022年2月28日	13,200円

【振込先】三菱UFJ銀行／心齋橋支店／普通 4873397 (名義：心齋橋大学)

※受講生フルネームでお振込み下さい。※お振込手数料はご負担願います。

* 受講のお手続き・ご登録内容確認のお願いについて *

本科、大学院、専科スクールと様々なコース・クラスが御座います。
組み合わせでの受講も可能ですので、スタッフにお気軽にご相談下さい。
ご相談は、来校・お電話・メールにて随時対応致します。

1. 受講に関するご相談 **体験・見学についてもお気軽にご相談下さい**

来校：月～土 12時～19時の間で随時、講義前後はご予約頂くことをお勧め致します。

TEL：月～土 12時～19時 担当スタッフ不在の場合は、折り返しお電話差し上げます。

MAIL：随時お返事差し上げます。(本科体験ビデオのご希望は、メールでお願いします)

本科については、体験授業ビデオを配信致します。(2コース迄可。講師が交代する為、現クラスでの体験は実施致しません。) 大学院については、来校・オンライン見学可能クラスをご案内致します。

2. 受講内容確認書のご提出

ご登録内容・受講内容確認書の必要事項にご記入の上、スタッフにご提出下さい。

※FAX、メール添付(PDF、メール本文への必要事項の記入等)、郵送でも受付致します。

秋期のコース・クラスの受付は10月20日(水)迄で一旦締切致しますが、満席クラス以外については、以降のお手続きについても受付致しますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、教室の収容人数の7～8割を満席として募集致します。
お早目にご相談、お手続き下さい。

3. 費用のお支払い

P10・11の受講料一覧をご確認の上、お振込下さい。お振込み確認を持ってお席を確保致します。

月払いをご希望の方は、10月20日迄に月払い1回目分をお振込下さい。(2回目以降は毎月28日迄)

●その他、お願い・ご案内事項 *受講のお申込み前に、下記を確認・ご了承下さい。*

- ◆ 講義スケジュールは、別紙にてご確認ください。本紙には、初回講義日のみご案内しております。
- ◆ 各コース、クラス、ゼミには、最低開講人数(目安人数:5名)を設けております。
残念ながら達しない場合は、開講致しませんのでご了承下さい。
- ◆ 担当講師およびカリキュラム・講義回数・開講期間は予定です。事情により変更することがあります。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、講義の実施方法を変更することがあります。
- ◆ オンライン受講・ビデオ受講の際のインターネット環境やデバイスの準備、利用にかかる通信費等の費用は各自のご負担となります。
- ◆ 心齋橋大学からのメール(@shinsaibashi-daigaku ドメイン)から、様々なご連絡・ご案内を致しますので、必ず受信頂けるように設定しておいて下さい。

●ご連絡・お問い合わせ先 心齋橋大学 事務局 大阪市中央区南船場3-11-18 郵政福祉心齋橋ビル2F 受講に関するご相談受付時間：月～土 12時～19時(担当：大出・島谷・平山・内山)

TEL : 06-6252-7000 / FAX : 06-6252-7222

MAIL : info@shinsaibashi-daigaku.jp